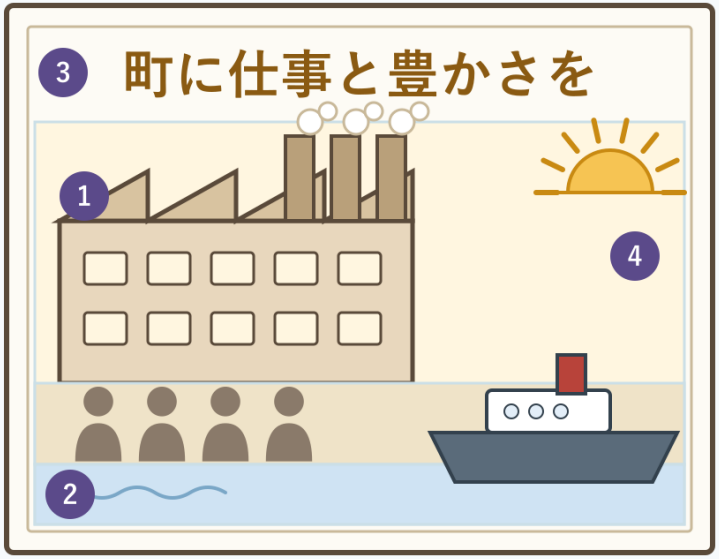
同じ出来事を描いた2枚のポスターの読み比べ（架空）

同じ出来事を描いた2枚のポスターは、なぜ伝えることが違うのか

架空の出来事：ある国の港町に、大きな工場を建てる計画が持ち上がった（1900年ごろの設定）

左のポスター（架空）

作った人：工場の建設を進める町の会
作った時期：計画が発表された直後
見せた相手：町の人々
目的：計画に賛成してもらうため



表現の工夫を読む

1 大きく描いたもの
左：工場と大きな船
右：濁った海と、魚の少ない網

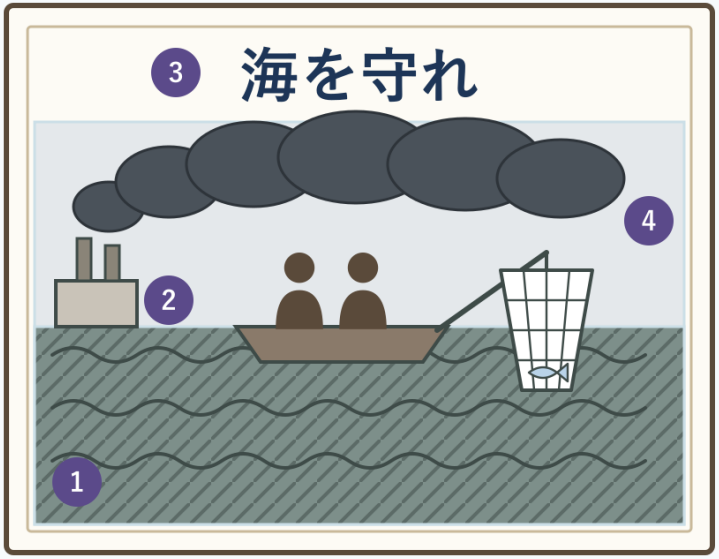
2 小さく描いた・描かないもの
左：海と漁の様子（漁師はいない）
右：工場（働く人はいない）

3 ことばの選び方
左：「仕事」「豊かさ」
右：「守れ」と呼びかける

4 象徴として使った絵
左：昇る朝日
右：空をおおう黒い煙

右のポスター（架空）

作った人：港町の漁業者の組合
作った時期：町の議会で話し合う前
見せた相手：町の人々と町の議会
目的：計画を見直してもらうため



まとめ

どちらが正しいかではなく、目的と立場で表し方が変わる。
2枚とも、作った人が伝えたいことを選んで描いている。

出来事を叙述するときは

2枚の両方と、ほかの資料（町の議会の記録、
漁獲量の統計など）を合わせて確かめる。

※ 出来事・国・町・団体・2枚のポスターはすべて架空。実在のポスターや風刺画を写したものではない。